

尾ノ上の風

第24号



学ぶ きたえる 助け合う

文責:校長 村上 正祐

1年間お世話になりました

本日修了式を行いました。全校一同に集まったの式はできませんでしたが、全クラスをテレビ電話で繋いで式を行うことができました。昨年4月の始業式に、1年後の修了式を今日のような形で行うことになるとは予測もしなかったことです。コロナウイルス感染防止のための休校によって3月は失われてしまいましたが、今日は各学級で1年間の総まとめと春休みの暮らしについて指導を行ったところです。3学期に学習することができなかった教科の単元等については新年度、新しい学年に進級後にしっかりと指導して参ります。

今年度は退任式についても例年のような形ではできなくなり、本日修了式の中で転退任する職員の紹介と職員からの挨拶を行いました。子どもたちと転退任する職員にとっては最後のお別れができないのは大変心苦しいのですがご了承いただきたいと思います。

1年間尾ノ上小学校に対しまして、保護者の皆様や地域の方々から本当にたくさんのご支援をいただいたことに加え、この休校期間中はしっかりとこの休校の意味の重さをお子様に伝えていただき、安全に過ごせるよう環境を整えていただいていることに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。また、1年間学校だよりに目を通し、関心をもっていただきましたことにも重ねてお礼申し上げます。

こんにちは！お仕事&授業拝見 最終回 学校を支える職員編

**堀川誠治 教頭**

(ほりかわせいじ)

尾ノ上小1年目

【尾ノ上小に来て楽しいと感じたことはどんなことですか。】

尾ノ上小学校の子どもたちは、あいさつがとても上手です。

毎朝、子どもたちとあいさつを交わすたびに、元気をもらい、楽しい気持ちで1日を過ごすことができました。

**兼本 勝浩 主幹
教諭**

(かねもとかつひろ)

尾ノ上小2年目

【尾ノ上小に来て楽しいと感じたことはどんなことですか。】

担任をしていた時は、自分の担当学年の子どもたちとふれあうことがほとんどでした。

尾ノ上小に来てからは、(主幹教諭として)いろいろな学級に入る機会が増えて、いろいろな学年のたくさん子どもたちと話をすることができ、とても楽しいです。

**農山 大地 先生**

(のうやまだいち)

昨年10月下旬に

本校に赴任

ひまわり学級を担任

【どうして先生になろうと思ったのですか。】

小学校6年生の時の担任の先生に影響を受け、その先生のように生徒一人一人としっかりと向き合える先生になりたいと思ったのが、きっかけです。そして、教育実習での経験を通して、より強く教師を志すようになりました。

【すか。】

小3年目
【すか。】